

「市長と一緒にティータイム」対話概要

団体名	聴覚障害者協会
実施日時	令和7年4月22日（火）午後1時10分～2時45分
実施場所	市役所政策会議室
出席者	聴覚障害者協会 8名 手話通訳者 2名 市 3名
テーマ	聴覚障害者が快適に暮らしやすい生活や街づくりについて

1 全日本ろうあ連盟創立70周年記念ドキュメンタリー映画DVD視聴

2 意見交換

協会：3月の議会定例会を傍聴しました。手話通訳を受けながら画面モニターを見ましたが、両方を同時に見るのは難しいので、モニターに字幕をつけてください。



市長：資料やモニターを見ながら手話通訳を受けることは難しいと思います。市議会に関連する内容ですので、ご意見を市議会へお伝えします。AI等により話し言葉をその場で字幕にする技術がありますが、現状では全ての言葉を正確に字幕にしているとは言えません。間違った字幕を出してはいけませんので、まだ検討が必要だと考えています。議場の傍聴席にはヒアリンググループを設置し、聞こえをサポートしています。

協会：聞こえない人には目で見える手話が分かりやすいです。議場における手話通訳者の立ち位置は、傍聴席から見やすい壇上等が良いと思います。

市長：字幕の件と併せて市議会へお伝えします。

協会：9月23日の国際手話言語デーでは、世界平和を表す青色のライトアップが実施されています。これは、世界ろう連盟が「手話言語にブルーライトを当てよう」というイベントとして呼びかけているものです。昨年度は袖ヶ浦駅と長浦駅の市政情報モニターに画像を出してもらいましたが、駅の利用者に限定したPRとなり、

車通勤の方などの目には止まらず残念でした。今年度は、袖ヶ浦市役所内など歩道や車道からも見えるようなライトアップをしていただければPR効果が高まると思います。

市長：昨年度は、長浦駅と袖ヶ浦駅の市政情報モニターでPR画像を表示しました。一定の期間表示できるというメリットがありますので、引き続き市政情報モニターでPRすることは有効だと思います。その他にも、市のホームページやSNS等による情報発信が可能ですので、9月23日の意味をPRできるよう検討します。



協会：手話に対する理解を促進し、手話言語条例の制定を目的として全国手話言語市区長会が発足しました。全国手話言語市区長会への加入状況は、千葉県内では37市中33市が加入し、袖ヶ浦市は非加入です。袖ヶ浦市も市区長会の活動に賛同し、全国の自治体における施策展開の情報交換等に加わることを切望します。

市長：これまでは、会の活動があまり活発ではなかったことから、退会した経緯があります。加入については、会の活動状況等を調査し検討します。

協会：昨年12月に、平岡交流センターで開催された防災講座に参加した際、他の講座参加者から「私は聴覚障害者です」という名前ホルダーを渡され衝撃を受けました。これは障害者差別だと思います。お互いに理解を深め協力しあって、差別をなくす取り組みを進めていくことを期待します。



市長：障害者差別は無くすべきだと考えていますので、差別の解消に向けた取組を引き続き行っていきます。この名前ホルダーには、「情報を共有してください。」と書かれていますので、避難所においても誰もが孤立することなく情報を共有できるように考えて作ったものだと思いますが、事前に了承をいただくと良かったのではないかと思います。

協会：聞こえる人、聞こえない人の考えがずれるという典型的な例だったと思いま

す。今後、一緒に勉強してもらいたいと思います。

協会：総合防災訓練に参加しました。情報共有は以前に比べてスムーズになりましたが、例として、水の配布があるという情報が入っても、どこにあるのかといった詳細が伝わらず終わってしまった事例もあります。聞こえない人への適切な情報共有を検討してください。

市長：掲示など、様々な方法で情報発信をするようにしています。

協会：避難所へ手話通訳者を配置し、放送があれば手話で通訳してください。

市長：放送はその場だけで終わってしまい、後に残らないため、書いて掲示するという方法を行っています。皆様には実際に訓練にご参加いただき、情報を共有する仕組みを作っていただきたいと考えています。

協会：袖ヶ浦市のラインも活用してください。

市長：市の公式ラインや生活安全メールを使うなど、様々な方法でお知らせするように考えています。

協会：長浦駅では、夜になるとタクシーが無く困っています。



市長：バスやタクシー会社などは運転手不足が問題となっています。多くの人を利用する高速バスも運転手不足により減便になっている状況です。市で運転手を増やすことは困難です。タクシーを呼ぶアプリ等もありますので活用ください。

協会：災害が発生した際には、自分から情報を得られず避難が困難です。袖ヶ浦市では通訳者が足りませんのでもう少し増やしてください。

市長：地域の防災活動等に参加し、普段から地域の皆さんとコミュニケーションを取っていただくと、地域の方との助け合いの意識が高まり、災害時も情報共有ができるようになります。

市長：本日はどうもありがとうございました。